資料３

会議録（要点記録）

会議名称	令和８年度　第１回小金井市精神保健福祉連絡協議会　部会		
開催日時	令和８年６月２５日（木）１４：００～１５：００		
開催場所	オンライン		
出席者等	赤濱委員、鈴木（絵）委員、山岡委員、石川委員、鈴木（澄）委員、小島委員 事務局：自立生活支援課長、相談支援係長、相談支援係主任		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	―
会議次第	１　開会 ２　議題 ⑴　協議会で協議された課題について ⑵　事業所近況報告 ⑶　その他 ３　閉会		
会議結果	１　開会 ２　議題 ⑴　協議会で協議された課題について ・協議会のアンケート結果及び協議経過に基づき、ヘルパーをはじめとした福祉就労の人材不足の課題に対処するため、市報に障害福祉事業所で働く方へのインタビュー等を掲載することに対する提案がなされた。 ・市広報に掲載する目的を「人材確保」「仕事の魅力発信」と整理し、現場ヘルパーのインタビューや声を載せる方針案が出された。 ・事業所の人材確保の取り組みや、利用者都合のキャンセル補償・支援体制・カスタマーハラスメント対応マニュアル整備など安心して働ける仕組みを広報で紹介する案が示された。 ・市内事業所連合会が主催する交流の場と連携し、昼間にシンポジウム等を開いて率直な現場意見を聞く企画が提案された。 ・精神障がいのある方を支援するヘルパーを従事した方に対し独自補助を行い待遇改善により人材不足を補えないか提案がなされた。 ⑵　事業所近況報告 ・令和８年７月２９日に「子どもと防災」研修を実施する。 ・フィッシングメールや偽警告、マルウェア感染事例が複数発生しており、内部チャットにセキュリティチャンネルを設けて対応策共有を行っている。またテレワークで事業所外から業務を行う職員の端末リスクに対応するため、自宅と施設で同等のセキュリティ水準を保てるシステム導入を予定している。さらに新たなセキュリティマニュアルを作成し、全職員で順守する体制を整える一方、被害前提でサイバー		

	保険や特約の導入可否、ヒューマンエラーの補償範囲について代理店と協議している。以上についてはテレワークの推進やシステムの高度化により人材不足への対応に効果があると見ている。 ・利用者がスマホや生成 AI の回答をうのみにし、情報の真偽を見極めることが難しく対応に苦慮している。 ・７月１５日に「高次脳機能障害に対するリハビリテーションと地域連携」をテーマとした講演会を開催予定で、参加を呼びかけている。 ・事業所で陳情対応のプロジェクトチームを立ち上げており、相談のうち精神疾患が疑われる方が一定割合存在し、就労困難や生活困窮に関する相談が多くなっている。 ・６月２０日に知的障がいのある方、８月３０日に精神障がいのある方向けのレクリエーション活動を行う。 ・８月４日に就労支援連絡会を行う。 ・就労選択支援事業について、関係機関との連携が課題となることがあり、一定整理が必要ではないか。 ・最近８０５０問題のケースについて、対応が困難な案件が増加傾向である。引き続き関係機関との連携していきたい。 ３　閉会
提出資料	なし